

J R 東海労働関西地「申」第8号
2022年9月20日

東海旅客鉄道株式会社
新幹線鉄道事業本部関西支社
支社長 臼井 俊一 殿

J R 東海労働組合新幹線関西地方本部
執行委員長 笹田 伸治

2022年度職場改善諸要求の申し入れ（運輸所関係）

これまで標題による申し入れにより会社に労働条件の改善を求めてきた。しかし、未だに職場には改善されない様々な問題が山積している。さらに毎年、新たな問題も発生する。このままでは、組合員の安全・健康を脅かすことになり、労働組合としても放置するわけにはいかない。

よって、組合員が安心して働ける労働条件を求めて、大阪第一運輸所、大阪第二運輸所に関係する職場改善の諸要求を以下のように申し入れるので、早急に団体交渉の場を設定すること。

記

I. 新幹線各駅・各車両所における危険箇所及び設備の改善要求

- (1) 各車両所の昇降台（手摺りのサビ・階段滑り止め・頭上の突起物・長さ等）を整備すること。
- (2) 東二両着発25番線における手歯止め使用に関し、No. 3位に変更すること。
- (3) 気温35度以上の日は、熱中症対策として巡回行路を中止すること。
- (4) 安全通路での左右確認喚呼は、「右よし・左よし」に戻すこと。
- (5) 名古屋電留線昇降台付近、安全通路付近及び東一両安全通路付近の雑草は、定期的に伐採すること。
- (6) 名古屋電留線の安全通路は不安定箇所（コンクリートブロック）を整備すること。
- (7) 新横浜駅におけるホーム柵の鎖錠鍵は一か所に変更すること。昨年、新大阪駅25、26番線博多方ホーム柵の鍵を撤去（令和3年11月30日）した理由を、「鍵が2箇所付いているから」と支社が説明した。その理屈でいくと、新横浜駅における鎖錠鍵も同等である。また、本線留置に伴う付加時間を5分間付加すること。

II. コロナウイルス感染防止対策に対する要求

- (1) 検温は、職場入口（全日警詰所）で行うこと。
- (2) 検温実施に伴う、労働時間を1分付加すること。
- (3) 発熱37.5度以上時の勤務認証は、私傷病扱いとせず在宅勤務とすること。

- (4) 一時帰休及び在宅日勤等の指定については、公平・公正に扱うこと。
- (5) 全社員にPCR検査を実施すること。
- (6) 新型コロナウイルス感染症罹患時の勤務扱いで、就労制限を適用している職場があるなど、職場によって違いがある対応をしている。勤務扱いを明確にすること。
- (7) 新型コロナウイルス感染症罹患時に新たにコロナ罹患休暇（有給休暇）を新設すること。
- (8) 濃厚接触者の勤務扱いもコロナ罹患休暇に準じて在宅（有給休暇）にすること。
- (9) 新型コロナウイルス感染防止対策として、緊急事態宣言時は、各種委員会及び定例訓練を中止すること。
- (10) 社員が新型コロナウイルスに感染した場合、包み隠さず速やかに公表すること。
- (11) 新型コロナウイルス感染罹患した場合の労災申請は、会社が積極的にサポートすること。

Ⅲ. 責任事故等起こりうる危険箇所の改善要求

- (1) 各駅、各車両所の停止位置目標・一旦停止標識を見やすくするため、LED化すること。あるいは、名古屋車両所回送線にある停止限界標識と同じようにLEDで照査すること。

Ⅳ. 寝室・備品等、職場内設備の改善要求

- (1) 寝室のシーツ交換は社員に行わせず、業者に委託すること。
- (2) 三島車両所、寝室のハンガー掛けの高さを低くすること。
- (3) 大阪第二運輸所浴室の黒カビを掃除すること。
- (4) 大阪第二運輸所浴室の排水口を定期的に消毒と清掃をすること。
- (5) 寝室の布団及び毛布を定期的に乾燥させること。
- (6) 寝室に空気清浄機及び湿気が除去出来るエアコンプラズマクラスターに変更すること。
- (7) 寝室のエアコンの清掃を定期的に行うこと。
- (8) 寝室のスリッパをゴムスリッパに変更し、定期的に交替すること。
- (9) 寝室の枕及び枕カバーを全て新調すること。
- (10) 各運輸所内の浴室に設置している洗濯機・乾燥機を増設すること。
- (11) 東二両3階、5階洗面所に乾燥機を設置すること。
- (12) 各ロッカーにタオル掛けを設けること。
- (13) 寝室の浴衣は、各サイズ（L/M/S）を用意すること。
- (14) 寝室のダニ対策を定期的な行うこと。
- (15) 寝室のカビ対策を定期的に行うこと。大阪第一・第二運輸所寝室のベッドに設置している照明の傘がカビだらけである。早急に撤去すること。
- (16) 東京第一運輸所の男子及び女子の寝室が老朽化している、改善すること。

V. その他の改善について

- (1) 規程類訂正は労働時間で行うことと労基署から指導があったが、乗務員の労働時間の区分に新たに規程の訂正時間を設けること。また、訓練時間内で行うこと。
- (2) 訓練の待ち時間は、2項超勤とすること。
- (3) 制服の更衣時間を労働時間とすること。
- (4) 運転士の体調の異常に対応するため運転士免許取得の車掌を必ず1人以上乗せること。
- (5) 運転中の安全確保及び異常時の迅速対応を考慮して車掌3人乗務とすること。
- (6) 連続休暇の不可日をなくすこと。
- (7) 乗務員は、年間予備月が8ヵ月あり、生活設計に影響があるので休日は前月10日に発表すること。
- (8) 毎月25日の勤務発表時の白日をなくすこと。
- (9) 新大阪ホーム詰所は、常時使用可能とすること。
- (10) 各乗務員待機室及び各乗務員休養室における業務用・私物携帯電話の電波状態を改善整備すること。また、Wi-Fiを設置すること。
- (11) 業務用携帯電話のイヤホンは、コードが邪魔で引っかかるなど危険性があることからワイヤレスにすること。
- (12) 東京駅の折り返し座席汚損交換は、SMTが行うこと。
- (13) 大阪の運輸所入口は、守衛の警備員がいることからカードリーダーの通しは止めること。
- (14) 各車両所での進路構成時における注意喚起の音声ガイダンスを新設すること。
- (15) 三島車両所3Fの待機スペースを拡張すること。また、浴室に下駄箱を設置すること。
- (16) 東京、新大阪、鳥飼の社員食堂の営業時間を7時～20時30分にし、メニュー内容、料金の改善をすること。新大阪日の出食堂の日曜日休業を見直すこと。
- (17) 制服ズボンのポケット内布地の強度を高めること。
- (18) 合服着用時のYシャツは、会社が貸与すること。
- (19) 出勤時刻前にアルコール検査を行った場合は、労働時間としてカウントすること。
- (20) 予備勤務の指定は、公平・公正に扱うこと。
- (21) 会社は、産業医が社員との面談を必要と認めた場合、業務として取扱い全ての時間を労働時間とすること。
- (22) 30日以上勤務に就かない退職前提の有給休暇及び私傷病等に伴う有給休暇の場合、通勤定期券の払い戻し制度を廃止すること。
- (23) 社員の有給休暇や保存休暇に於ける、会社からの呼び出しは絶対に行わないこと。
- (24) 自然災害時における通勤障害が発生した場合、通勤手段に自家用車での通勤を認めないこと。

以上